

環境科学科3年生まで揃い、新たなるスタート

岡山県立高梁城南高等学校

本校は、岡山県の高等学校再編整備計画により平成16年1月に認可され、電気科・デザイン科・総合情報科・生物科学科・人間科学科の5科が設置されました。しかし、平成20年より生物科学科と人間科学科は募集停止となり、平成22年3月に最後の卒業生となる52名を送り出し、両科のあった川上校地は閉舎となりました。新しく設置された環境科学科には、平成20年4月に、本科にとって最初となる第一期生40名が入学しました。平成21年には第二期生40名、そして本年度（平成22年）4月には、三期生40名が入学し、1年生から3年生までが揃い、環境科学科として、新たなるスタートをきりました。



平成20年4月より、新しく設置された環境科学科では、これからの環境について、自然環境の側面と社会環境の側面の両方から「みんなしあわせ、ずっとしあわせ。」を科学する。”をキャッチフレーズに、自然環境と人類の調和を図りながら、持続可能な社会を実現するために、未来の地域のありかたを考えつつ、社会に向けて積極的に提言や貢献のできる人材の育成を目指しています。1学年では基礎的な内容を全員で学習し、2学年からはより専門的に学習を進めるために、生徒の興味・関心に応じて「生物環境」と「生活環境」のいずれかの類型を選択して学習を行っています。

生物環境類型では、自然と人間とのよりよい関係や人間生活のありかた・地域の発展や自然文化などについて、植物や環境の学習を基に考えていきます。生活環境類型では、すべての人が心豊かに安心した生活を送っていただけるように、家庭・地域・社会における生活環境の今後のありかたを考えるために必要な知識や技術を学習していきます。

本科では、地域との連携を行いながら学習活動に

取り組んでいます。環境に関する学習の一環として昨年度より、「キャンドルナイト in 高梁」を高梁市内の紺屋川沿いで実施しています。この取り組みは、環境について学ぶなかで、地元の皆さんと環境のことや地域のことを、廃油ろうそくの灯りの下で語り合うために実施しています。本年度は、本校生徒に加え、高梁高校生徒会・家庭クラブ、吉備国際大学エコアクションクラブに属する同じ思いの仲間が集い、7月9日に3校で協同開催することができました。当日は点灯直後に雨天のため中止となりましたが、地域の方々と協力して実施することができました。



また、幼児から高齢者までの成長発達段階を理解し、健康的な生活を送るための環境とヒューマンサービスについて学習するために、保育所・幼稚園・福祉施設の見学や交流活動などの体験実習を行っています。実際に体験を通して学習を行うなかで、人と人の繋がりやコミュニケーションの大切さ、そして人を思いやる心を育てていると思います。



このように地域を見つめたり、人とふれあう体験的な学習は、これからの環境について考えていくためにとても大切であると思います。今後も環境科学科として、特色ある体験学習を通して、環境について考えてゆける取り組みを進めてゆきたいです。